

お名前 _____

学年 _____ 年生 _____ クラス

*この資料は、i-Ten-Labo（京都のボランティアとNPOのためのポータルサイト）のホームページ（<http://www.kyoto-v.com/>）を参考に作成しています。

〇〇〇（団体名）
連絡先

「ひらき方」と「閉じ方」



車いすが閉じた状態です。



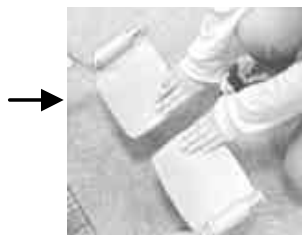
アームレストを持ち、開けるところまで開きます。



車いすの前にたち、座るところに手をそえ、押し広げます。



車いすが動かないようにブレーキをかけます。



フットレスを下ろします。



フットレスを上げます。



車いすの横にたつて、座るところの真ん中をつかみ、持ち上げます。



完全に閉じるまで引き上げます。

「おし方」・「ブレーキのかけ方」



車いすの後ろに立ち、両手でハンドグリップをしっかりと握ります。ブレーキをゆるめ前後左右に注意してゆっくりと押していきます。



片手はハンドグリップをにぎり、もう一方の手でブレーキをかけます。乗り降りする時や、車いすから離れる時は必ずブレーキをかけます。

「キャスターのあげ方」



ハンドグリップをにぎり、ティッピングレバーに足をかけます。



ティッピングレバーを踏み込むと同時にハンドグリップを下に押し下げます。



キャスターが上がったら、グリップをしっかりとにぎり、ティッピングレバーから足をのりし、ひざと腰でバランスをとります。

車いす福祉体験授業

〇〇〇（団体名）

200 年 月 日（ ）



知っておきたい！

車いすの各部の名称

ハンドグリップ	ここをもって介助する。
アームレスト	ひじかけ
フットレスト	足をのせるところ
大車輪	
ハンドリム	乗る人がこれで大車輪を回す
キャスター	自由に向きがかわる
ブレーキ	停止したら必ずかける
ティッピングレバー	キャスター 上げに足で踏む



段差の「のぼり方」



段差のすぐ手前でキャスト
ターを上げます。



ハンドグリップをにぎり、
ティッピングレバーに足
をかけます。



ハンドグリップをにぎり、
ティッピングレバーに足
をかけます。

段差の「おり方」

基本的なおり方は、のぼり方の手順の逆で行います。

車いすは段差に対して背中をむけ、後輪からゆっくりと降ろします。

キャストターを上げ、そのまま後ろにさがります。

フットレストや乗っている人のつま先が段差にあたらないように注意し、キャストターを地面に降ろします。

「もちあげ方」

エレベーターやスロープのついていない階段などでは、車いすをもちあげることがあります。

必ず3人以上で、周りの安全に気をつけながらもちあげます。

この時、アームレストなどの取り外せるパーツをもって、持ち上げると危険ですので、注意
しましょう。 *写真はわかりやすい様に、人が乗っていない状態です。



車いすを階段の正面にむけ
ハンドグリップと車いす本
体のパイプを持ちます。



車いすの前側をもつ人
は、ここを持つと安定
します。



しっかりと持ち、一段ずつゆっくり
進みます。左右にゆれたり、後ろに
傾きすぎないように注意しましょう。

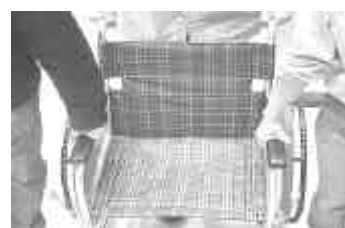


乗っている人が、転げ落ち
ないように、おりる時は、
階段に背中を向けゆっくり
おります。

*注意！



ハンドリムを持ってあげる
と、車輪が回って危険です
ので気をつけましょう。



アームレストが取り外しで
きるものがありますので、
気をつけましょう。

